
青空はマイハート

夢二つ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青空はマイハート

【Nコード】

N7326U

【作者名】

夢二つ

【あらすじ】

雲の形はおもしろいです。様々な世界を広げてるように思えます。なんかこれって小説にいていませんか？

屋根の上で仰向けにゴロン。

俺は雲を眺める。ゆっくりと時間を気にすることなく青を漂う。

俺の感情は雲に出る。

今の気持ちが雲の表情であらわされるのだ。

例えば、こうだ。

朝もはよから、屋根の上で寛ぐ変人。朝ごはんも食べていないので、お腹がなる。

「はらへった〜」

この感情が雲の形として表されてしまう。

自由な雲がくっついたり離れたり、変化する。

「タコ焼きかな」

雲の造形がタコの絵と火の文字を表す。

こんな感じに、ちょっと遠回しな僕の心。それを表現する。

母親が庭に降り立ち、僕には声をかける。

「早く降りなさい。時間にルーズなんだからうるせ。」

また僕の感情を反映して、雲がうるうるとする。

ヘッドフォンの形を象っている。

うん。確かにヘッドフォンだな、リアルタイムな僕の気持ちは。

ノラネコがたまに屋根の上にたむろしていることがある。今朝も

先客が来ており、ごろごろとひなほっこを楽しんでいた。

しかし、自由気ままなノラネコは僕に擦り寄ってくる。

「なんだお前」

喉をこしょこしょしてやる。

雲がまた変化しはじめる。

カタカナでツンデレと書かれる。ものすごくばかにされたようだ。なんだよ。ノラネコから顔を背け、横向きの体制に変える。

ノラネコは寂しそうな一声。

これじゃ、本当にツンデレだ。男のツンデレなんて気持ち悪いだけ。

おじいちゃんが朝の散歩を始めるのか、玄関からこちらを見上げ、手を振っている。

麦藁帽子がかっこいいぜ、ジーちゃん。

手を振りかえす。

雲が姿を変える。

100と読むことができる。

もうすぐで、おじいちゃんは一時期も人生を経験してきたことになる。尊敬します。

曲がり角から顔をだすは、俺の幼なじみだ。

俺の家に向かってくる。そして呼び鈴をその手が鳴らす。

急いで俺は制服を身につけ、ズボンを穿き、学生かばんを引っ張って玄関に出る。

彼女は玄関前までできていた。

「おはよう。学校にいこう」

「おう」

慌ててスニーカーを突っかけ、外に出る。

「あの雲の形面白いよね」

彼女が広い空の雲を指さす。

その雲はハートマークをしている。

「いいから。いくぞ」

「なに、そんなに慌ててるの」

彼女がおかしそうに笑う。

落ち着け俺。落ち着け。

また、彼女が声を上げる。

「見て、あの雲私に似てる」

指さす雲は、確かに彼女に似ていた。

結局、心を落ち着かせるには彼女と普通の毎日を過ごすことなん

だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7326u/>

青空はマイハート

2011年10月9日10時38分発行